

令和4年度 第1回経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書（令和3年度分）

1. 評価機関名 当麻町商工会 第1回総務委員会
2. 開催日時 令和4年6月14日（火）
13時30分～13時53分
3. 開催場所 ふれあい交流センター輝き 2階研修室
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 当麻町監査委員 西川 泰弘
当麻町まちづくり推進課 課長 川本 充宏
 - (2) 商工会 総務委員長 長谷川 浩保
総務副委員長 小西 和洋
総務委員 小林 善則、中島 明幸、原 尚司
事務局長 橋本 正実 経営指導員 種村 勇人
補助員 伊達 千尋

5. 内 容

定刻となり、事務局が開会を宣し、長谷川総務委員長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 令和3年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明した。

令和3年度における、経営発達支援事業の実施状況を「経営発達支援事業評価シート」【令和3年度版】により報告を行った。

I. 経営発達支援事業の内容

① 地域経済動向の調査に関すること

巡回訪問回数、経済動向情報提供について説明した。巡回訪問回数は昨年より下回り、当初の目標の約50%下回ってしまったこと（252回）を報告。また経済動向調査については、国のビッグデータRESASを活用し、北海道、上川管内、当麻町のそれぞれの交流人口や経済動向を調査し、巡回訪問時に情報提供したことを報告。

② 経営状況の分析に関すること

ネットde記帳分析件数、経営講習会の開催、専門家派遣回数、広域連携経営支援会議について説明した。

ネットde記帳分析は22件、確定申告に合わせて実施、経営講習会は石北四町市場協議会主催の「インボイス制度についての概要と今後の対応方法」について2月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったことを報告。専門家派遣は事業計画策定支援や策定後の支援に合わせて5者7回実施、広域連携経営支援会議は新型コロナウイ

ルスの影響で目標値の半数5回実施したことを報告。

③事業計画策定支援に関すること

講習会・個別相談会の開催、講習会出席者数、事業計画策定支援事業者数、専門家派遣件数について説明した。

事業計画策定支援に関する講習会・個別相談会は講習会を1回開催し、4事業所4名の出席、事業計画策定支援はセミナーで5件、専門家派遣で5件（うち持続化補助金で2件申請）であったことを報告。

④事業計画策定後の支援に関すること

フォローアップ件数、専門家招へい回数、施策広報について説明した。フォローアップは、専門家を招へいし1件（エステティック業）実施、施策広報は、目標の12回を大きく下回り3回だったことを報告。

⑤需要動向調査に関すること

需要動向調査、石北四町での調査・分析、POS情報提供事業者数について説明した。

需要動向調査、石北四町での調査・分析、POS情報の提供については、実施に至らなかったことを報告。

⑥新たな需要の開拓に資する支援に関すること

イベント参加支援事業所数、展示会参加支援事業所数、SHIFT登録者数、専門家派遣件数について説明した。イベント参加支援（とうま蟠龍まつり、とうま新米新そばまつり、石北四町市場協議会地域イベント）は新型コロナウイルスの影響で全て中止となったこと、展示会参加支援についても実施に至らなかったことを報告。

II. 地域経済の活性化に資する取組

イベント（とうま蟠龍まつり、とうま新米新そばまつり、石北四町市場協議会地域イベント）による交流人口は、新型コロナウイルスの影響でイベントすべてが中止となったことを報告。

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

①他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

金融機関との連携及び情報交換は、日本政策金融公庫との連絡協議会は新型コロナウイルスの影響で中止となったことを報告。

近隣商工会との連携及び情報交換は、石北四町市場協議会の経営支援会議を4回開催、支援ノウハウの情報交換を行ったことを報告。

専門家との連携及び情報交換は、セミナーや個別相談会、事業計画策定支援において専門家と、支援ノウハウや情報交換を行ったことを報告。

②経営指導員等の資質向上等に関すること

職員の研修会等への派遣、職員会議の開催について報告。

職員研修は指導員が税務関係の研修会、補助員、記専が全道ブロック別補助

員等研修会にオンライン参加していることを報告。

職員会議は毎週金曜日の朝に行っていること、内容については情報の共有までには至っていないことを報告。

③事業の評価及び見直しをするためのしくみに関すること

令和３年度は２年度の評価見直しを令和３年７月５日に開催していることを説明した。

以上説明を行い、「経営発達支援事業評価シート」【令和３年度版】の評価で委員全員が了承した。

（２）令和４年度事業計画及び予算について

令和４年度伴走型事業の計画について説明を行った。

伴走型補助金の予算としては１０，０００円を予算措置しているが、先般３０２万円で計画を提出していることを説明した。

（３）事業の評価・見直し結果の内容について

評価委員より以下の意見あり

【地域経済動向の調査に関すること】

○巡回訪問

- ・事業者の経営状況や課題把握等の巡回訪問は大切な取り組みです。
- ・コロナ禍で対面での対応が制限され、回数も減ったが事業者への効果はあった。

○経済動向情報の提供

- ・事業計画策定に繋がるよう引き続き情報提供ください。

【経営状況の分析に関すること】

○ネット de 記帳分析件数

- ・事業計画策定に繋がるよう引き続き分析を実施ください。

○経営講習会の開催

- ・事業者への情報提供にもなり、年数回の講習会を検討願いたい。
- ・オンラインでの開催も検討願いたい。

○専門家派遣回数

- ・前年より回数が若干減少だが、引き続き専門家と連携ください。

○広域連携経営支援会議

- ・広域連携は必要であり情報共有等継続願います。

【事業計画策定支援に関すること】

○講習会・個別相談会の開催

- ・講習会等の開催により企業の経営環境変化が把握でき、経営改善にもつながると思う。
- ・参加者を増やす対応が必要。

○講習会出席者数

- ・参加者の増員に向けて、テーマ等を様々ご検討ください。

○事業計画策定支援事業者数

- ・巡回訪問等により、経営支援掘り起こしを図ってください。

○専門家派遣件数

- ・引き続き専門家と連携し、経営支援に取り組みください。

【事業計画策定後の実施支援に関すること】

○フォローアップ件数

- ・事業者支援に向け、フォローアップ増に努めてください。

○専門家招へい回数

- ・事業者支援に向け、専門家とも連携し取り組みください。

○施策広報（年間）

- ・情報提供は事業者にとって必要であり、継続して発行ください。

【需要動向調査に関すること】

○需要動向調査

- ・事業者の経営環境が変化中、需要動向調査は必要な取り組みと思います。

【新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること】

○イベント参加支援事業者数

- ・新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、新たな需要の開拓等イベントへの参加をし、販路支援に向け取り組み下さい。
- ・令和4年度の実施に向けて期待します。

○展示会参加支援事業者数

- ・新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、新たな需要の開拓等イベントへの参加をし、販路支援に向け取り組み下さい。
- ・令和4年度の実施に向けて期待します。

○SHIFT（グーペ）登録者数

- ・新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、新たな需要の開拓等イベントへの参加をし、販路支援に向け取り組み下さい。
- ・令和4年度の実施に向けて期待します。

○専門家派遣件数

- ・新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、新たな需要の開拓等イベントへの参加をし、販路支援に向け取り組み下さい。
- ・令和4年度の実施に向けて期待します。

【地域経済の活性化に資する取組】

○イベントによる交流人口

- ・コロナ禍の収束を望むと共にイベント等が開催され、地域経済の活性化を期待します。

【他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること】

○金融機関との連携及び情報交換

- ・金融機関との情報交換は必要なことであり、再開を期待します。

○近隣商工会との連携及び情報交換

- ・引き続き取り組まれ事業者支援に繋げていただきたい。

○専門家との連携及び情報交換

- ・引き続き対応願います。

【経営指導員等の資質向上等に関すること】

○研修会等への派遣

- ・引き続き研修会等へ参加され、事業者支援に役立ててください。

○職員会議の実施

- ・職員間での情報共有は大切な事だと思う

【事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること】

○経営発達支援計画に係る会議の開催

- ・取進めて下さい。

※令和3年度の評価については、委員の評価も自己評価と同様の評価である。

その他、事務局は意見等を求めたが特に発言はなく、第1回経営発達支援事業評価・見直し会議を閉会した。